

新全総分科会：笠間視察会のお知らせ

[正月の笠間] ～ 新世紀の幕開けに「未来」と「伝統」を見る～

21世紀に向けて...、21世紀の...という長期目標に掲げられてきた「21世紀」がはじまります。

21世紀の幕開けを機に、いばらき建設技術研究会のみなさんと20世紀にいばらきの建設技術者が成し遂げたこと、21世紀にいばらきの建設技術者が求められることを見て、語りたいと思います。

視察地は笠間市です。歴史的な街並みと人情が残る旧市街地、土地区画整理事業による新市街地、農村集落環境を活かしたクラインガルテン..... 笠間市は、創出と保全がバランスよく展開されている都市であり、新全総分科会のテーマである「いばらきらしい地域像」のモデルとして最も適した都市のひとつと考えられます。笠間の街並みや農村集落を散策(またはサイクリング)した後、懇談会形式でみなさんと意見交換を行います。正月は笠間の特徴をいっそう際立たせます。

笠間を楽しみながら、20世紀の夢を21世系己に実現させる方法を話し合ひましょう。

開催日：平成13年1月13日(土)
時間：午前10時～午後5時(予定)
場所：笠間駅(集合場所)

スケジュール(予定)

笠間駅(集合場所)
笠間クラインガルテン

- ・「農芸と陶芸のハーモニー」をテーマに、都市住民が地域住民と交流を持ちながら草花や野菜を栽培し、心身共にリフレッシュできる関東地区初の滞型市民農園
芸術の村
- ・北大路魯山人がかつて住んでいた民家「春風万里荘」(移築)、画家の住居、アトリエなどが点在
笠間芸術の森公園〔茨城県陶芸美術館等〕
- ・「伝統工芸と新しい造形美術」をテーマとした笠間芸術の森公園の中核施設として、緑豊かな自然の中に設置された東日本で初めての陶芸専門の県立美術館
笠間稻荷神社
- ・京都の伏見稻荷、佐賀の祐徳稻荷とともに、日本3大稻荷のひとつ。創建は白雉年間(650～654)、五穀豊穡、商売繁盛を願い、年間3百万人以上が訪れる
石井北部・寺崎地区(土地区画整理事業+ふるさとの川モデル事業)〔懇談会会場〕
- ・消費者ニーズの多様化やライフスタイルの変化にも対応しながら、文化・コミュニティやレジャーも有する、にぎわいと活力に満ちた新しい商業を集積
笠間駅北地区
- ・笠間市街地内の都市的未利用地を住宅地として整備
笠間の市営住宅(来栖市営住宅)
- ・HOPE計画、住宅再生マスタープランに基づき、計画的に市営住宅整備・建替えを行い、高齢者対応住宅や市民ニーズに応じた多様な住宅供給を推進
笠間駅で解散

(参考) [笠間市ホームページ](#)

<http://www.net-ibaraki.ne.jp/kasama/Home.html>